

令和7年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：保健 単位数：1

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	新高等保健体育（大修館）
	補助教材：	なし

教科（保健体育）の目標

【知 識 及 び 技 能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目（保健）の目標

【知 識 及 び 技 能】	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標				指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元	生涯の各段階における健康		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	知識及び技能		指導事項	知識・技能					
	生涯の各段階における健康について理解し説明することができるようにする。		思春期、結婚生活	生涯の各段階における健康課題について理解し、説明している。					
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現					
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができるようにする。		教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。					
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるようにする。		調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。		○	○	○	4
	単元	生涯の各段階における健康		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能		指導事項	知識・技能					
	加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解することができるようにする。		加齢と健康	加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解することができる。					
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現					
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができるようにする。		教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。					
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるようにする。		調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。					
	定期考査（期末考査）/返却と解説								1

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数	
2 学 期	単元	労働と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	働くことの意義と働き方の多様化について理解できるようにする。		労働災害と健康、働く人の健康の保持増進	働くことの意義と働き方の多様化について理解することができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができるようにする。		教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるようにする。		調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。				
	単元	環境と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	人間の生活や産業活動は、様々な自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことについて、理解できるようにする。		環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動	人間の生活や産業活動は、様々な自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことについて、理解することができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができるようにする。		教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるようにする。		調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。				
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	1	

